

認知症への理解 アップデート!

「新しい認知症観」とは、
認知症になってからも、一人ひとりが個人
としてできることややりたいことがあり、
住み慣れた地域で仲間などつながりな
がら、希望をもって自分らしく暮らし続ける
ことができるという考え方です。

大阪府では「おおさか希望大使」とともに、
この「新しい認知症観」という考えが
府内全域に広がるよう取組みを進めます!



新しい認知症観

わがこと・本人視点・可能性重視

- 古 他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り
→ 新 わがこと、お互いさま、向き合う、備える
- 古 認知症だと何もわからない、できなくなる
→ 新 わかること、できることが豊富にある
- 古 本人は話せない
→ 新 本人は声を出せる
- 古 周囲が決める
→ 新 本人が決める(決められるように支援)
- 古 地域で暮らすのは無理
→ 新 地域の一員としてともに暮らす

認知症地域支援推進員活動ガイド(2023年3月版)をもとに大阪府作成



認知症は、
誰もがなり得る身近なものです。
自分ごととして考え、まずは認知症を
知ることから始めませんか?

大阪府では、ホームページを通じて認知
症に関する基礎知識や認知症に関する
相談窓口など、認知症に関する様々な情
報を発信しています。

大阪府ホームページ

閲覧はこちらから

大阪府 認知症施策 検索



[主な掲載内容]

- ・認知症の主な症状
- ・認知症に関する相談窓口
- ・認知症に関する受診先
- ・若年性認知症について
- ・認知症サポーター・認知症カフェ
など



お問い合わせ・窓口

大阪府福祉部高齢介護室介護支援課
認知症・医介連携グループ

〒540-0008 大阪市中央区大手前3-2-12 大阪府庁別館7階

電話: 06-6941-0351(代表)

MAIL: S106900G06@gbox.pref.osaka.lg.jp



おおさか希望大使 活動中!

認知症とともに
希望をもって暮らせる大阪へ

